

令和4年度 鳴滝高校【昼間部 生徒】学校評価

評価基準 [ 4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない ]  
 A：3.0以上 B：2.5以上 C：2.0以上 D：2.0未満 比較：0.2差○▼

分野	番号	内 容	評価		総合評価	
			R3	R4		
教務	1	学校の教育方針を知っている。	2.8	2.9		B
	2	単位制のシステムを理解している。	3.5	3.3	▼	A
	3	他校にはない学校の特色を知っている。	3.3	3.3		A
	4	自分の時間割を作成するためのシステムを理解している。	2.9	3.0		A
	5	どのような科目があるのか説明を受けている。	3.3	3.3		A
	6	学習意欲があり、授業の内容も理解している。	2.9	2.9		B
	7	家庭学習を行っている。	2.0	2.3	○	C
	8	週予定や月予定などの学校行事がわかり、計画的に生活している。	2.6	2.9	○	B
	9	学習に必要な施設設備が整っている。	3.1	3.0		A
生徒指導	10	昼間部の生活目標を心掛けて生活している。	2.9	2.9		B
	11	社会人になるためのマナーを身につける努力をしている。	3.3	3.3		A
	12	高校生らしい容儀を心掛けている。	3.3	3.2		A
	13	学校は安全面で特に不安はない。	3.4	3.3		A
生徒会	14	体育祭や文化祭などの学校行事を楽しみにしている。	3.1	3.0		A
	15	学校の部活動は活発である。	2.6	2.4	▼	C
	16	自分はクラスや生徒会の一員であるという自覚がある。	3.0	3.0		A
	17	地域清掃などのボランティア活動に意欲的に取り組んでいる。	2.3	2.8	○	B
進路指導	18	将来への展望や目的を持って生活している。	2.8	2.9		B
	19	進路について考える機会を持つことができている。	3.0	3.1		A
	20	進路について適切なアドバイスを受けている。	3.1	3.1		A
	21	進路についての情報をどのようにしたら入手できるか知っている。	2.9	3.1	○	A
研修	22	周囲や相手のことを考えて学校生活を送っている。	3.2	3.4	○	A
	23	平和について考えるようになった。	3.0	3.1		A
教育相談	24	各種調査・面談などをおして先生たちに自分の考えを伝えられる。	3.0	3.1		A
	25	先生やスクールカウンセラーに悩みを相談できることを知っている。	3.4	3.5		A
	26	いじめ根絶の集会等を通して、いじめを自分のこととして考えることができる。	新規	3.2		A
保健	27	健康・保健についての情報が手に入りやすい。	3.0	3.0		A
	28	自分の健康管理に保健指導が役立っている。	2.8	2.9		B
美化	29	環境問題に関心があり、ゴミの分別などの取組を行っている。	3.2	3.2		A
	30	自ら進んで掃除をするようになった。	3.0	3.1		A
図書	31	図書館をよく利用している。	2.3	2.4		C
主権者教育	32	政治や選挙に関心があり、社会への参画（住んでいる地域社会へのかかわり、国際社会への興味関心を持つことなど）を行おうとしている。	2.3	2.4		C

令和4年度 鳴滝高校【昼間部 保護者】学校評価

評価基準 [4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない]

A：3.0以上 B：2.5以上 C：2.0以上 D：2.0未満 比較：0.2差○▼

分野	番号	内 容	評価		総合評価	
			R3	R4		
教務	1	学校は教育方針を周知徹底させている。	3.5	3.3	▼	A
	2	学校は単位制のシステムをよく説明している。	3.6	3.6		A
	3	学校は他校にはない特色をアピールしている。	3.5	3.4		A
	4	学校は生徒ひとりひとりの時間割作成に関してよく指導している。	3.5	3.5		A
	5	学校は多くの科目を開講している。	3.2	3.4	○	A
	6	学校は生徒に授業が分かりやすくなるように工夫している。	3.3	3.2		A
	7	学校は家庭学習を行うように指導している。	3.0	2.9		B
	8	学校はプリントやホームページなどを通して様々な情報を提供している。	3.4	3.2	▼	A
	9	学校は学習に必要な施設設備を整えている。	3.4	3.3		A
生徒指導	10	学校は基本的な生活習慣に関してよく指導している。	3.2	3.3		A
	11	学校は社会人になるためのマナーを身につける指導をしている。	3.2	3.3		A
	12	学校は高校生らしい容儀を指導している。	3.2	3.2		A
	13	学校は安全面で特に不安はない。	3.6	3.5		A
生徒会	14	学校は体育祭や文化祭などの学校行事を充実させている。	3.4	3.6	○	A
	15	学校は部活動の活性化に努めている。	2.9	3.0		A
	16	学校は学級活動や生徒会活動の活性化に努めている。	3.2	3.3		A
	17	学校はボランティア意識を高めるような指導をしている。	3.0	3.1		A
進路指導	18	学校は将来への展望や将来の目標を持つように指導をしている。	3.3	3.4		A
	19	学校は講演会や集会など進路について考える機会を作っている。	3.2	3.4	○	A
	20	学校は生徒の進路について適切なアドバイスを行なっている。	3.4	3.4		A
	21	学校は進路についての情報を提供している。	3.3	3.4		A
研修	22	学校はPTA新聞や専門委員会活動を通して、PTA活動の活性化を図っている。	3.1	3.0		A
	23	私はPTA活動に参加している。	2.1	2.1		C
教育相談	24	学校は各種調査・面談や研修会を行い、生徒理解に努めている。	3.3	3.3		A
	25	学校はスクールカウンセラーを配置・活用して、教育相談の体制を整えている。	3.5	3.6		A
	26	学校はいじめ防止基本方針等に基づき、防止や早期発見および組織的な対応に努めている。	新規	3.3		A
保健	27	学校は健康や身体についての情報をよく提供している。	3.3	3.4		A
	28	学校は生徒が自分の健康管理について考えるような指導をしている。	3.3	3.3		A
美化	29	学校は環境問題への意識を高めるために、ゴミの分別などを指導している。	3.3	3.2		A
	30	学校は清掃活動をすすんで行うような指導をしている。	3.3	3.2		A
図書	31	学校は生徒が図書館を利用しやすくなるように工夫をしている。	3.5	3.4		A
教育者主権	32	学校は生徒が政治や選挙に興味を持つような取り組みをしている。	3.0	3.0		A

令和4年度 鳴滝高校【昼間部 職員】学校評価

評価基準 [4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

A:3.0以上 B:2.5以上 C:2.0以上 D:2.0未満 比較:0.2差○▼

分野	評価項目	目標・具体的方策	R3	R4	総合評価
学校運営	方針・努力目標	学校の実態に即した努力目標が設定され、教師間の理解の下に、目標の具現化を図る。			
		①校務分掌や学年次等の方針に学校方針・目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.2	3.3	A
		②方針・努力目標に基づいた教育活動を実践する。	3.1	3.2	A
組織運営	校務分掌	各分掌・学年次及び各自の役割を認識し、適切に仕事を処理する。			
		①各分掌・学年次の活動について、適宜、反省・評価を行う。	3.3	3.3	A
		②各分掌・学年次間で有効に連携する。	3.2	3.0	▼A
	各種委員会	各種委員会を適切に設置し、その活動の効率化と活性化を図る。			
		①必要な委員会を設置し、効率よく開催する。	3.1	3.2	A
	②委員会での話し合いの結果を教育活動や学校経営などに活かす。	3.0	3.2	○A	
教育活動	教育課程と科目登録	単位制の特徴を生かした教育課程を編成して、受講登録を円滑に行う。			
		①7月までに、教育課程を編成する。	3.5	3.4	A
		②7月までに、生徒へ科目選択・学習方法を理解させ、3月上旬に科目登録を完了する。	3.2	3.3	A
	教科指導	学力の向上を図る。			
		①チャイムと同時に学習を開始し、落ち着いて学習できる環境をつくる。	3.2	3.1	A
		②成績不振生徒に対する添削指導や学習会を充実させる。 ③教科指導を工夫・充実し、単位修得率を前年度より高める。	3.0 2.9	2.9 2.7	B ▼B
	生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚を図る。			
		①挨拶運動や登校指導、個人面談などを実施して、生徒との信頼関係をつくる。	3.3	3.0	▼A
		②携帯電話の使用や状況に応じた態度・服装・挨拶等、公共のマナーを身に付けさせる。 ③いじめ防止基本方針に基づき、防止と早期発見に努め組織的に対応する。	2.5 新規	2.6 3.2	B A
	生徒支援(新規)	生徒一人一人を大切に、健康な体としなやかな心の育成を図る。			
		①生徒の状況把握、教育相談の充実により心身の健康を保持し、安定した学校生活を支援する。	新規	3.1	A
		②情報交換会や職員研修会を実施して、職員の共通理解を深める。 ③SC、SSWおよび関係機関等との連携を密にして組織的に生徒の修学を支援する。	3.4 新規	3.3 3.6	A A
	特別活動	生徒会活動・学校行事などの活性化を図る。			
		①特別活動におけるリーダーを育成する。	3.0	2.9	B
		②活動内容を工夫し、生徒全員が協力して行事に取り組み、昼間部の伝統を築く。 ③ボランティア活動を充実させる。	3.1 2.5	3.1 2.6	A B
進路指導	生徒の進路意識を高め、希望者の進路実現率100%を目指す。				
	①進路調査や講演会、進路だよりなどを通して進路意識を高める。	3.0	3.0	A	
	②補習や添削指導などを計画的に実施する。	3.0	2.9	B	
教育環境	環境美化	清掃・美化活動を徹底し、明るく衛生的な教育環境の維持とエコ意識の高揚を図る。			
		①美化意識の調査や広報活動など、美化委員会活動などの充実を図る。 ②日常清掃や特別清掃などに積極的に取り組む。	2.9 3.3	3.0 3.2	A A
	施設設備の管理	生徒及び学校の安全確保のため、施設設備の安全管理を図る。 ①日常的に、各職員の管理箇所の点検を行い、整備に努める。	3.3	3.3	A
開かれた学校	PTA活動	PTA活動を活性化させ、積極的な活動を図る。			
		①専門委員会の活動内容を充実させ、会員の参加を増やす。	2.6	2.9	○B
	地域と連携	学校を地域に開放し、交流と連携を図る。 ①学校施設の開放や公開講座、学校行事への招待、地域との懇談会等を充実させる。	2.7	2.8	B
		情報提供	学校方針や教育活動、学校評価の結果などの情報を保護者、地域などへ積極的に提供する。 ①学校HPの更新を定期的に行い、かつ、文書提供を適宜行う。	2.9	2.9